

## 鴨川流域懇談会委員紹介

### 【座長】

なかがわ ひろじ  
中川博次

#### 立命館大学客員教授、京都大学名誉教授（河川工学）

建設省、京都大学防災研究所、京都大学教授を経て、平成7年から現職。日本を代表する河川工学の第一人者として、国、地方自治体及び関係機関の各種検討委員会等の委員長を多数歴任。京都府においても総合開発審議会委員、京の川づくり懇談会委員、京の川再生検討委員会委員長や京都市の水共生プラン基本方針策定委員会委員長などを歴任され、河川工学のみならず京都の川とまちづくりなどの幅広い観点からご指導をいただいている。

### 【委員】

かだ ゆきこ  
嘉田由紀子

#### 京都精華大学教授（環境社会学）

滋賀県琵琶湖研究所主任研究員、滋賀県立琵琶湖博物館総括学芸員などを経て、2000年（平成12年）から現職。琵琶湖をフィールドにした人と環境の関わりの研究を通じ、琵琶湖博物館の企画から開館に立ち会われる。水や川との関わりをテーマに地域のひととの共同研究を進められている。日本水フォーラム副会長、子どもと川とまちのフォーラム代表を歴任。著書に「生活世界の環境学」「水辺ぐらしの環境学—琵琶湖と世界の湖から」（共著）、「環境社会学」「水辺遊びの生態学」など多数。

きんだ あきひろ  
金田章裕

#### 京都大学副学長（人文地理学）

京都大学文学部教授、文学部長などを経て、2001年（平成13年）から現職。1200年以上にわたる歴史に培われた世界有数の文化都市京都において、国内外から様々な文化を担う人々を招き、人類の目指すべき新たな方向を議論する「京都文化会議」組織委員会企画委員長などを歴任。著書に「古代日本の景観」「オーストラリア景観史」「古地図からみた古代日本」「古代景観史の探求」など多数。

すぎえ さだあき  
杉江貞昭

#### 鴨川を美しくする会事務局長

鴨川をきれいにしようという個人の意思で集まってきた住民のボランティア団体として、河川美化と環境保全の輪を広げるために1964年（昭和39年）に結成された「鴨川を美しくする会」の事務局長に平成12年就任され、現在に至る。同会は、結成以来約40年の永きにわたり、鴨川クリーンハイクをはじめ自然観察会や鴨川納涼、鴨川茶店などを通じて、鴨川をはじめとする河川の環境保全や美化に関する啓発活動に取り組まれている。

たなか しんちよう  
田中真澄

#### 鴨川の自然をはぐくむ会代表、岩屋山志明院住職

高野山に入行、1967年（昭和42年）鴨川の源流に位置し、鴨川との関わりの深い岩屋山志明院住職となられ現在に至る。京都水と緑を守る連絡会代表幹事、明日の鴨川の橋を考える会委員、淀川水系流域委員会委員、宇治川河川保全利用委員会委員、京都創生百人委員会委員などを歴任。著書に「ダムと和尚」など。

なかむら ひろこ  
中村弘子

#### 漆工芸家 千家十職塗師第十二代中村宗哲

千利休家の十職の中で塗道具を創作する中村家の第十二代中村宗哲を1986年（昭和61年）に襲名され、現在に至る。月次、伊勢物語、百人一首をテーマとした彩漆器個展を各地で開催。京都府あけぼの賞、京都府文化功労賞、京都市文化功労賞などを受賞されるなど、漆工芸の創作活動に従事されるかたわら、鴨川改修協議会委員、京の川づくり懇談会委員、京都府環境審議会委員、京都市基本構想等審議会委員などを歴任され、京都の伝統や文化からみたまちづくりなどの観点からご指導いただいている。

にいかわ たつろう  
新川 達郎

### 同志社大学教授 (行政学)

東北学院大学助教授、東北大学助教授などを経て、1999年(平成11年)から現職。政府や地方自治体の制度に関する分析とその改革、行政における住民参加について研究されるとともに、京都府府民参画行動指針検討委員会座長、京都市市民参加推進懇話会委員などを歴任。著書に「地域空洞化時代の行政とボランティア」(中央法規、共著)など。

にしむら あけみ  
西村 明美

### 柊家株式会社 取締役

明治維新のちょうど50年前にあたる文政元年創業の京都を代表する老舗旅館「柊家」の女将としてご活躍されるかたわら、京都のみならず全国各地の「京都のもてなしの心」をテーマとした多くの講演の講師も努められる。京都市観光大使おこしやす京都委員会委員、みやこ女将の会会長、京都商工会議所女性会理事などを歴任。

むらた じゅんいち  
村田 純一

### 京都商工会議所会頭、村田機械株式会社 代表取締役会長

村田機械株式会社常務取締役を経て、1970年(昭和45年)代表取締役社長、2003年(平成15年)代表取締役会長に就任。京都工業会副会長、京都経済同友会代表幹事など多数の要職を歴任され、2001年(平成13年)2月からは、京都商工会議所会頭として、地域経済の活性化はもとより、京都の持つ特性を最大限に引き出しながら、京都ブランドの推進、日本を代表する美しい京都のまちづくりなど「美感都市・京都」の実現に積極的に取り組まれている。

もりや かつひさ  
森谷 尅久

### 武庫川女子大学教授 (都市文化史)

京都市史編纂所員、京都大学人文科学研究所講師、京都市歴史資料館初代館長などを経て、1989年(平成元年)から現職。京の歴史・生活・文化を多角的に研究されるかたわら、京都府・京都市・大津市の文化財保護審議会委員などの公職を多数歴任。著書に「京の川」「京医師の歴史」「滝沢馬琴」「大御所時代」「京都観光文化検定試験公式テキスト」など多数。

よしざわ けんきち  
吉澤 健吉

### 京都新聞社編集局次長

京都新聞社編集局夕刊編集部長、文化報道部情報担当部長、文化担当部長を経て、2004年(平成16年)10月から現職。1200年の歴史を誇る京都のもつ伝統の知恵を21世紀にどう発信していくかをテーマに、宗教、大学、伝統文化・産業を統合した「京都学」の構築に努められてる。特別取材班キャップを努められた、連載「こころの世紀」は1994年度(平成6年度)新聞協会賞を、また「学都ルネサンス」は1996年度(平成8年度)坂田記念ジャーナリズム賞をそれぞれ受賞。

## 【行政】

京都府土木建築部長 土屋 光博

京都市建設局長 中島 康雄

敬称略、委員は五十音順、( ) は研究分野